

学校ICT環境整備事業（デジタルテレビ及びコンピュータ等の整備）

今回の補正により ICT環境整備の目標を達成

< 整備目標 >	<20年3月末>	<21年度補正で全て実現>
・全てのテレビをデジタル化	約1%	100%
・校務用コンピュータを教員1人1台	約58%	100%
・教育用コンピュータ児童生徒3.6人に1台	7.0人	3.6人
・全ての普通教室に校内LANを整備	63%	100%

【事業費総額】 4081億円

負担割合

1 / 2※（国庫補助）
2千億円

学校情報通信技術環境整備事業等

1 / 2「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」等
2千億円（注4）

※財政力指数0.5以下の離島・へき地にある小中学校の補助率は3分の2

教育委員会から各自治体の財政当局に早期に働きかけ、財源を確保することが重要

○デジタルテレビ（電子黒板 小中1校1台）・・・	1,183億円	幼・小・中・高・特・公民館（44万台）
○アンテナ工事	87億円	幼・小・中・高・特・公民館
○コンピュータ整備	2,491億円	小・中・高・特（196万台）
○LAN整備	310億円	小・中・高・特

（注1）50インチ以上のデジタルテレビへの買替え（積算単価25万円（設置費用込））

（注2）LAN整備の一部（1校400万円以上、小・中・高・特）とアンテナ等工事費（幼・小・中・高・特・公民館）は「安全・安心な学校づくり交付金」で対応（補助裏は「地域活性化・公共投資臨時交付金」で措置）

（注3）緊急雇用創出事業臨時特例交付金において、ICT支援員による、ICTを活用した教育活動を充実する事業を行うことが可能。

（注4）臨時交付金で裏補助負担分を措置できない場合は地方債（補正予算債）の活用が可能。補正予算債は元利償還金5割を交付税措置の予定。ただし、工事及び工事と一体として整備する機器のみ。



インターネット上の世界地図を画面に表示



電子黒板の画面上で写真に書き込み

パソコン・校内LANを活用した授業の事例（1）



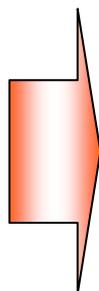
- ディスプレイ上で手書き入力ができる「タブレットPC」を1人1台で使用
- 漢字の正しい筆順や形などの、ドリル学習に活用



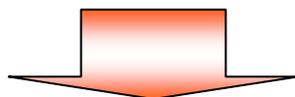
パソコン・校内LANを活用した授業の事例（2）



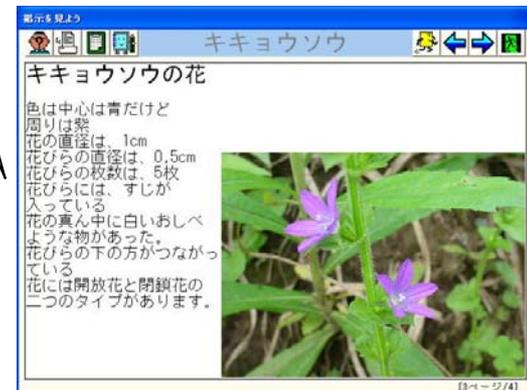
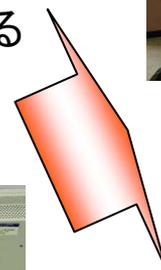
- デジタルカメラで、身近なものや出来事を撮影



- インターネットを使って調べる



- グループで話し合ってみる



- まとめたものをプレゼンテーションしたり、ホームページに掲載して交流に活かしたりする